



報道資料

2007年8月21日
株式会社ディーアンドエムホールディングス
代表執行役 CEO エリック・C・エヴァンズ
(コード番号:6735 東証第1部)
(問合せ先)執行役 CSO 本村直之
(TEL:044-670-1111)

ディーアンドエムホールディングス、英カルレック・オーディオ社を買収 ～コマーシャル AV 機器事業を拡大～

株式会社ディーアンドエムホールディングス(東証1部:6735、本社:神奈川県川崎市、取締役会会長兼代表執行役 CEO:エリック・C・エヴァンズ、以下 D&M)は本日、放送局向けの音響・音声編集コンソールなどで知られる英国のメーカー、カルレック・オーディオ・リミテッド(本社:英国ウェスト・ヨークシャー、ヘブデン・ブリッジ。以下カルレック)を買収したことを発表いたします。

会長兼 CEO のエリック・エヴァンズは次のようにコメントしています。

「カルレックの獲得は、我々の新規事業領域の拡大という成長戦略、中でも業務用ブランド AV 機器分野の拡大における、大きな一歩であると言えます。カルレックという新たなプレミアム・ブランドが加わることで、BBC、ITV、NBC、CBS、FOX、毎日放送、朝日放送など、世界中の有名顧客に製品をお届けする基盤が整います。」

カルレックの主な商品は放送局向けのデジタル及びアナログの音響・音声編集コンソール、音響ネットワーク機器などで、その成功をさらに後押ししているのが、5.1ch の HD サラウンド・サウンドを実現するための、多くの音源が制御可能な、独自開発の技術です。

放送業界以外にも、業務用ブランド AV 機器が使用される場所としては、コンサート・ホールやレコーディング・スタジオ、映画会社、公共施設などがあり、D&M として、今後も市場開拓に取り組んでまいります。なお、2007 年度の D&M の売上高に占めるコマーシャル AV 機器事業の割合は約 25% の予想です。

買収条件につきましては公表いたしておりません。今回の買収は、当社の 2008 年度以降の 1 株当たり利益の増加要因となります。前回当社が発表しました 2007 年度の業績予想にカルレックは含まれておりませんが、中間期決算発表時に最新の情報をお知らせする予定です。

エヴァンズは更に、次のように述べています。「D&Mの他のブランドと同様に、カルレックも我々のインフラを得ることで利益率を最大限に高め、その良さやユニークさを維持しながら、さらなる技術力向上に努め、投資に見合う成果を上げてくれるものと期待しています。買収については、今後も我々の成長戦略に合致する案件があれば、検討していきたいと考えています。」

株式会社ディーアンドエムホールディングスについて

株式会社ディーアンドエムホールディングスは、コンシューマー用、車載用、業務用、プロ用の高級AVブランドに対してグローバルなマネジメント及び販売のプラットフォームを、提供しています。

傘下にはデノン、マランツ、マッキントッシュ、ボストン・アコースティックス、スネル・アコースティックス、エシェント、リプレイTVおよびデノンDJ、さらにD&Mプロフェッショナル、D&Mプレミアム・サウンド・ソリューションズの事業を擁し、その技術で音響・映像体験の向上に努めております。詳細につきましてはwww.dm-holdings.comをご覧ください。

(注)上記は現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

###